

『いっせいの』で解き放て! 想い描いたTHUMBNAIL

— 『もういいかい・まあだだよ・もういいよ』 —

第035号(R08.07.17)

～ 1学期、お世話になりました ～

1学期、たいへんお世話になりました。最終週になって、急に暑い日が続きました。御家庭でも、熱中症への対策、ありがとうございました。

このような状況でも、本校の児童、教職員、あたたかい保護者、そして地域の皆様の支えを感じながら、学校の経営できたことは幸せな時間を過ごしたと思います。

～ 通知表について ～

1 所見

1学期の所見欄には、「教育相談では、大変お世話になりました。1学期の所見は教育相談の内容に代えさせていただきます。」と表記しました。先日、実施した教育相談で、1学期の様子をお伝えしました。

文章で伝えるよさもありますが、実際にお話するよさを感じ取ってもらえたことと思います。「課題を共有し、意見を交換して、お子様の成長につなげたい。」など、今回の教育相談で方向性が見出されたことと思います。

2 お願い

通知表を見ると、1学期の様子が伝わってくると思います。それぞれの子供によりこと、もう少しがんばりたかったことなど、ドラマがありました。

まずは、お子さんのがんばりをほめていただければと思います。学習面でなくてもよいです。お子さんががんばった部分は、必ず、あります。

また、課題となっている部分は、その課題を解決するためにどのようなことをすればよいのか、具体的に考える必要があります。保護者の意見だけではなく、お子さんの意見も踏まえながら、一緒に考えてください。2学期のさらなる成長に期待しています。

例えば、お子さんと保護者でこのような会話をするという方法もあります。

①学習面を見ながら、「1学期の学習は、100点満点ならば何点くらいかな。」とお子さんに問いかけてみてください。お子さんが「90点」と答えたら、保護者は「がんばったね。足りなかった10点はどこなの。」と問い返してください。そして、10点の部分を改善する方法を一緒に考えましょう。

②生活面を見ながら、「思いやり・協力」に○がついていたら、「友達に優しくできて、すてきなことだね。2学期はどの項目をがんばってみたいかな。」と問いかけて見ましょう。お子さんの答えをもとに、一緒に改善するための手立てを考えましょう。